

# ガバナー月信 vol.10



ロータリーで良いことをしよう



■ガバナーメッセージ	1
■ロータリー財団・補助金管理セミナー	2
■米山記念奨学生終了式・歓送会	3
■第5分区 I M報告	4
■2021-22年度 国際協議会報告	5-6
■PETSを終了して	7
■ロータリーショーケース	8-19
■主要行事予定・新入会員紹介・訃報	20
■会員数及び出席	21
■コーディネーターNEWS	22-23
■ハイライトよねやま	24-25



## 桜で春を感じています!

国際ロータリー第2560地区 2020-21年度 ガバナー 佐藤 真(村上岩船)

春の便りといえば「桜」を連想される方は多いと思いますが、私もそのひとりです。新年度を迎えるにあたり、入園、入学、入社と希望に満ちた若人たちの新生活が始まります。今年は未だ終息の見えないCOVID-19禍で新入生、新社会人の皆さんは不安を抱えられていると思うとやるせない気持ちになりますが、必ずや新たな素晴らしい未来は訪れます。現在があるのも、先人たちが幾多の試練を乗り越え歴史を築かれた、その賜物であることは紛れもない事実なのです。

4月は「母子の健康月間」です。毎年、5歳未満で亡くなられる子どもは世界で推定590万人にものぼります。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如などどれもが予防可能なものばかりです。世界中の母子への上質な医療提供を叶えるためには、私たちの支援も必要とされています。教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、有用な方法で母子の健康を推進し、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育について、活動を継続してゆきましょう。今、COVID-19禍で通常の奉仕活動が停滞していますが、私たちに何が出来るかを考え、実現可能な「良いこと」をお願いします。

さて、4月18日(日)は待ちに待った2020-21年度地区大会が開催されます。COVID-19の影響で昨年6月に延期を決断し、もやもやした気持ちで今年度をスタートしたことは未だに忘れられません。特に実行委員会の皆さんには本当にご苦労をお掛けしましたが、やっと願いを叶えることができます。RI会長代理、同期ガバナーやロータリー関係以外の来賓もお呼びしておりませんが、100%に近い第2560地区のロータリアンから登録をいただき、胸に熱いものがこみ上げております。記念講演には、松下幸之助氏に学びを受けた、(株)PHP研究所 取締専務執行役員の永久寿夫氏による「松下幸之助が考える共存共栄のあり方」を予定しております。時短の3時間30分で、直接参加とライブ配信による、クラブ、グループごと、また個人によるハイブリット形式の大会となりますが、当地区にとって新たな「機会の扉を開く」挑戦であり、多様性を追求する礎になれば幸いと思っております。



# ロータリー財団セミナー 補助金管理セミナー開催報告

国際ロータリー第2560地区 ロータリー財団委員会 補助金委員長 鈴木 孝二 (新発田中央)

COVID-19禍の最中開催も危ぶまれながらも2021年2月20日(土)13時よりANAクラウンプラザホテル新潟にて県内53クラブ代表者及び事例発表者2名、地区役員23名の参加を得、セミナーが無事開催できたのも会場設営されたホテル並びに参加されたロータリアンの皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、本セミナーは、2021-22年度の地区活動資金(DDF)を効果的に管理し資金を適切に監督する上で必要な知識や情報を提供する為の重要な研修です。従って各クラブより参加いただき補助金申請の資格認定を取得することを強く推奨されています。

当日の内容としては、セッション第一部(財団資金活用と次年度寄付目標)でロータリー財団セミナーの概要の後

- 1. 地区補助金の活用について全般的な説明、事例発表として新潟万代RC
- 2. VTTの概要と財団奨学生(高橋映華さん)による体験談発表
- 3. グローバル補助金の活用について、事例発表として新発田RC
- 4. 寄付資金の現状と次年度目標、ポリオプラス、ロータリーカードについて各委員長より説明が行われました。

#### セッション第二部(補助金管理について)

1. 次年度に向けたスケジュールと資金管理ルールについて説明

その後、各クラブより積極的な質問・意見があり、このCOVID-19禍においても社会のニーズに合った奉仕活動の重要性を認識され企画立案されている状況が確認できたことに感動を覚えました。

ロータリー財団も2013-14年度より「未来の夢計画」がスタートし「ロータリアン自らが創造し、かつ自らも参加・活動しやすい奉仕プロジェクトを行うために、ロータリー財団の補助金が活動しやすくなった」と、前向きに考えればよいのではないかと示唆しています。第2560地区財団委員会も各クラブの理念に沿いながら一緒に行動したいと考えておりますのでぜひご協力をお願いいたします。







## 米山記念奨学生終了式 · 歓送会

国際ロータリー第2560地区 米山記念奨学委員会 奨学生・学友委員長 野澤 修(新潟東)

第2560地区米山記念奨学委員会は3月6日(土)ホテルイタリア軒にて2020-21年度米山記念奨学生終了式・歓送会を行いました。佐藤真ガバナーから3月末奨学期間終了の当日参加14名の奨学生一人一人に終了証書が手渡されました。

残念なことに新型ウィルスの影響により、今年度は予定していた行事が中止となり、奨学生同士、奨学生とロータリアンの交流の機会が極めて限られてしまった年となりました。終了式で奨学生を代表して挨拶を行ったタイからの奨学生コットパーシャリン・ティータットさんは昨年2月にタイに一時帰国し、新型ウィルスの影響で日本に戻ることができなくなり、ようやく戻ってきたのは8月でした。その際、カウンセラーの方が成田まで車で迎えに来てくれたというエピソードを紹介してくれました。世話クラブとカウンセラーにはとても感謝しているそうです。

終了式後に行った歓送会では、当日参加した19名の奨学生一人一人にスピーチをしてもらいました。多くの奨学生がカウンセラーの皆様への感謝の気持ちを述べていました。一方で、もう少しロータリーの行事に参加したかったという声もありました。

今後、奨学期間が終了した奨学生はそれぞれの道に進むことになりますがロータリアンからの寄付で成り立っている米山奨学金の意味をより理解してもらい、真の日本との懸け橋となれる存在になってくれたらと思います。米山奨学生の皆様のこれからのご活躍を期待しています。









## 第5分区 I Mのご報告

国際ロータリー第2560地区 2020-21年度 第五分区ガバナー補佐 鈴木 公子(柏崎中央)

2月27日、当日は、朝は雪が降っておりましたが、開会時刻には柏崎の空も晴れて、佐藤真ガバナー、渡邊明紀地区幹事、第5分区7クラブ会長幹事をお迎えし、ついに第5分区01 Mを開催することができました。

当初は昨年秋の開催を予定しておりましたが、COVID-19の影響で、延期を決定。しかし、なかなか収まらない感染におののきながら、例会や実行委員会で話し合い、柏崎での感染も落ち着いたということ、そして、直前に感染が広がった場合には中止も考える、という前提で、計画しておりました。

ほとんどの会員が初めて聴く生ガバナーのお話は、今できるロータリー活動についてわかりやすく、説明していただきました。

講師の内田美智子先生においては、福岡から来てくださることをご快諾いただき、直前にはPCR検査陰性を確認してからの訪問で、ありがたいことでした。

内田先生の話は、柏崎市民皆様にも聞いていただくことにより、佐藤真ガバナーの「良いことをしよう」のテーマに沿いたかったのですが、このご時世ではそれもかなわず、オンラインでの同時配信となり、また、IMの記念事業として、柏崎市、刈羽村全小中学校には、内田先生の著書を寄贈させていただくことにしました。

助産師として42年、3000人以上の命を取り上げてきた内田先生。「命をいただいて繋いでいくこと」の尊さ、命がけで産んだ子供は命がけで育てなければならない、私たちロータリアンも、未来を生きていく子供たちに何かしなければいけないことを提言してくださいました。皆様、感動の涙をぬぐいながらの素敵な講演でした。

最後に、ご参加くださった皆様、そして、困難を降り超えて、開催までこぎつけてくれた柏崎ロータリークラブの皆様に、感謝いたします。なお、ご興味のある方は、YouTube「柏崎中央ロータリークラブ」で検索してご覧ください。









## 2021-22年度 国際協議会報告

国際ロータリー第2560地区 カバナーエレクト 高尾 茂典 (新潟中央)

一昨年秋、ノミニーとしての神戸でのロータリー研究会で4日間の本格的な研修が始まりました。その後エレクト研修を重ね今年2月、本来ならフロリダオーランドに於いて国際協議会に出席して530名のエレクトと同時にシェカール・メータ会長による研修を受け又同期の仲間との親睦文化交流会も楽しみにしておりましたが、残念ながら2月1日から11日までリモートでの研修になりました。開会式でのシェカール・メータ会長の大変解り易くそして思いのこもった方針発表は感動致しました。何度も聞き直ししっかり受け止めさせて頂きました。





「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために~Serve to Change Lives~」

世界時間でしょうか。メインの研修は23時から始まりその後、20人前後のメンバーで意見 交換を行うのが通例となり、終了は午前2時前後まで続きました。エレクトの皆さんは本 当に熱心でその日のテーマについて意見交換を重ねる事が通例となり様々な角度からの考 えを聞く事が出来大きな収穫となりました。全体会議とディスカッションの伴う分科会に 分かれての研修スタイルも良かったと思います。





「会員増強~一人の会員が一人の新会員を入会させる~」

最終日は午前10時~16時頃まで、そして夜21時から夜中の2時頃まで研修会と意見交換がZ00Mで続き、大変厳しい中にも毎日満足感があり大変素晴らしい、そして充実した研修を受けることが出来ました。このコロナ禍での通常経験出来ないZ00Mでの研修で学んだ事全てを理解している訳ではありませんが、何とかシェカール・メータ会長のメッセージをしっかり受け止め地区運営方針を作成してガバナー補佐のお力添えを頂きながら、各クラブのロータリアンにお伝えして各クラブがロータリーの今年度の目的、奉仕をする事で皆が豊かになり親睦を深めながらロータリーの輪を広げて頂く為に尽力する所存でございます。皆様のご協力宜しくお願い申し上げます。



「ロータリー奉仕デー(RC, RAC, IACの合同イベント)」



## PETSを終了して

国際ロータリー第2560地区 2021-22年度会長エレクト研修セミナー 実行委員長 丸山 常彦(新潟中央)

3月13日土曜日に国際ロータリー第2560地区 2021-22年度 会長エレクト研修セミナーを大勢の皆様よりご協力頂き無事に終了することができました。本当に有難うございました。

実行委員会が立ち上がり、高尾ガバナーエレクトよりCOVID-19禍の中でのロータリー活動をとのことで、3密・感染を避けながらでも顔が見える形での開催を希望されてということでこの様なZOOMによる開催計画となりました。各分区ごとに集まることにより3密を避け分区内の次年度ガバナー補佐・各会長・次年度幹事さんとの顔合わせもでき、親睦もはかれるようにということで計画が立てられました。そして、次年度ガバナー補佐各位からの絶大なる協力のおかげで、各会場設営・運営を次年度ガバナー補佐の皆様とZOOMでのPETS開催計画が立てられました。両副実行委員長のもと、スケジュールを決め開催に向け計画を進めて参りました。一番心配なのは実際にZOOMで各会場と接続できるかどうかということで、本部会場のホテルより各会場とテストミーティングを開催。つながり具合、配信・聞き取り等のテストを進め色々と調節を行い本番に備えていきました。

いよいよ本番、各会場とZOOMで繋がり会長エレクト研修セミナーが開会、高尾ガバナー エレクトの点鐘、佐藤ガバナー・髙橋ガバナーノミニー・大谷研修リーダーよりご挨拶を 頂き始まりました。

次年度役員の紹介ののち、RI会長方針と次年度基本方針を高尾ガバナーエレクトより発表 頂きました。そののち各地区委員長より次年度委員会基本方針発表・ガバナーエレクト事 務所からのお願い後、大谷研修リーダーより全体セミナーがありました。

昼食後、RI会長エレクトメッセージをZOOMにて配信を受け参加、各会場はYouTubeにて接続して視聴して頂きました。終了後、各会場にて分区セミナーを開催、終了ののち再度 ZOOMを接続し、第1分区次年度ガバナー補佐より第7分区次年度ガバナー補佐まで次年度ガバナー補佐の抱負発表をいただき研修を終了。

大谷研修リーダーより講評を頂戴し、閉会の点鐘、閉会宣言にて終了しました。

COVID-19禍のなかで関係各位の皆様のご協力を頂き終了できましたことに感謝申し上げます。大変有難うございました。

また、最後に、伊藤・長谷川両副実行委員長より絶大なる協力を頂きましたことに感謝申し上げましてお礼の挨拶とさせていただきます。有難うございました。



## COVID-19禍に思う事

村上ロータリークラブ 会長 本間 啓介

2020-21年度の村上ロータリークラブの会長を仰せつかっております本間啓介です。新型コロナウィルスの影響で、現在でも研修・会議が開催できない状態が続いております。世界的には終息の気配が見えず、当面は現在の状況が続くものと思われます。皆様方に直接お会いすることもできず、活動も縮小せざるを得ない状態で、大変残念ではございますが、状況を見極めながら皆様のご協力をいただいてクラブの運営に努めてまいりたいと思います。

今年度のホルガー・クナーク氏のRI会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」を提唱されました。ロータリーの活動を通して、より豊かで意義ある人生への機会の扉を、そして誰かのために機会の扉を開くと述べられ、ロータリーの価値観の大切さを強調されています。国際協議会でも、2017年7月のRI理事会で採択されたビジョン声明「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」が強く強調されていました。このビジョン声明はロータリーのこれからの行動の土台をなすものと言ってよいでしょう。

そして、本年度の地区スローガンには佐藤ガバナーが「ロータリーで良いことをしよう」を掲げられました。今一度ロータリーの原点に返り、ロータリークラブーつーつ、ロータリアン一人一人と誠意をもって語り合い、大切なこと、良いことは皆で共有し、勇気をもって共に未来に向かって実践していく。これにはコロナ禍だけでなく、様々な病気と闘う人々、頻発する大災害の被災者等々、困難に立ち向かっている多くの人々に寄り添い、勇気を取り戻すために、ロータリーとしてできる活動を行ってゆくことを目標とされているように思います。

青少年交換やインターアクト、ローターアクトなどの青少年奉仕の活動も制限され非常に残念に思います。WHOの終息しないパンデミックはないという言葉を信じて活動再開の準備を進めたいと考えております。



## COVID-19禍におけるクラブ活動

豊栄ロータリークラブ 会長 鈴木 秀明

社会全体がCOVID-19の影響を受けるなか、当クラブの活動も大幅な変更を余儀なくされました。まず、昨年5月に予定されていました創立50周年式典の中止、実行委員会を中心にして以前から準備していたもので、当クラブの節目を皆様と一緒にお祝いできなかったことは大変残念なことでした。

また、例年であれば形が決まっているはずの当クラブの年間の例会プログラムも変更を繰り返しました。その度に段取りを組み直して、会員への周知をすること、特に感染拡大の時期には当クラブにおいても短縮例会や食事を弁当配布にするなどの工夫をしました。もともと会員数が少なく、密になることはないため、休会の措置までは取らなかったことから、例会の回数自体は予定どおり開催できています。

そのような状況化を振り返って、本年度の地区運営方針である「ロータリーで良いことをしよう」が実践できているのかどうかを自身に問いかけてみました。その中で感じたことは、COVID-19禍においてもロータリー活動の本質は変わらないということです。クラブ活動をするにあたり、例年とは違う形になったとしても創意工夫をして活動を継続していくことです。その意味では「第42回豊栄ロータリー旗争奪ミニバスケットボール大会」と「児童養護施設若草寮での木工教室」が無事開催できたことは当クラブにおいても喜ばしいことであり、子供達に活躍の機会を提供できたことは良いことでした。

本年度も残り3カ月ほどになりました。当クラブの本年度の基本方針として掲げさせて 頂きました「ロータリー活動を機会として、良い奉仕を行う」を実践して、次年度へ繋げ ていきたいと思います。









## COVID-19禍に思う事

新潟ロータリークラブ 会長 高橋 秀松

2020-21年度の活動も残すところ 3 カ月、第 4 コーナーを曲がろうとしています。本年度、掲げたテーマである「楽しく、親睦を図り、良い奉仕を」が具体的に実現できないでいることを残念に思いながら、この 9 ヶ月間、大きく活動が制限される中、運営をしてきました。「100の議論よりも 1 杯の盃」が大切であり、親睦が全ての始まりであると考えている私にとって、多くの懇親会を中止や延期と判断せざるを得ない中で、適切な時期を考慮・感染対策を十分に講じて、全会員を対象に、7 月の納涼会、10 月の月見の会は開催させていただきました。開催前は、参加数が芳しくないのではないかと不安に思っておりましたが、心待ちにしていた多くの会員の皆様に出席いただき、両会とも、古町芸妓に花を添えていただきながら、感染対策を兼ねた、静かな飲食ながらも、華やかに開催することができました。

今後も、状況を見ながらとなりますが、花見の会、そして納会を何とか開催し、私の掲げたテーマをこの状況下で最大限実現すべく、努力してまいります。





## COVID-19禍での社会奉仕活動

新潟西ロータリークラブ 会長 中村 文彦

新潟西ロータリークラブではクラブテーマを「希望に満ちた行動が未来を拓(ひら)く」としました。この基本理念を再認識して着実に物事をすすめ、将来を展望して新たな活動拡大へ邁進してまいりました。COVID-19禍でのクラブ活動を模索しながら、新しい生活様式を取り入れ、制約がある中活動をしております。

#### 【リモート例会専用ホームページの作成】

リモート例会をスムーズに行うために、クラブ独自の会員専用ホームページを作成中です。例会を行うことが出来なくなった場合には、各自の端末からホームページの専用フォームにアクセスして例会が行えるようになっています。

#### 【クラブ独自のCOVID-19対策ガイドラインの作成】

感染対策のガイドラインを作成し、会員の安全確保と出席停止基準、健康チェックシートなど一目でわかる基準を明確にしました。また、ホーム出席の「特別付与」の基準を作成し、体調不良で例会に出席できなくてもレポートを提出することにより出席と見なす基準を作成しました。

以下に奉仕活動内容をご報告いたします。



2020年9月3日(木) 新潟市役所にて、 消毒液200本(約10 万円)を市内ひま わりクラブ(放課 後児童クラブ)に 寄贈いたしました。



10月24日、新潟市西区 にある児童養護施設、新潟天使園様にある児童様にを 動として、木々の代まして、木々の代まで 、本草刈りを行いました。 あいにくの雨にいた。 あず、頑張っていただました。



新潟西ロータリークラブ・ゴルフ同好会によるゴルフコンペが11/3(火祝)紫雲ゴルフ倶楽部で開催されました。コンペタイトルは「大野先生を囲むゴルフコンペ」。ご高齢になられてもなお元気にゴルフを続けるロータリアン・大野康則さんに敬意を表したゴルフコンペです。コンペは総勢15名4組で行われ、時折雨が降るも秋晴れの天候の中、和気あいあいと楽しく行われました。





## COVID-19禍でのクラブ運営方法

新潟万代ロータリークラブ 会長 堂本 真由美

堂本年度は7月の第1例会より通常例会を開催しました。

7月第1例会より9月第4例会まで感染症対策として座席の間隔を開けてスクール形式での例会開催としました。10月第1例会からは通常通りの円卓として1卓5名掛けとし、COVID-19対策として隣席との間に仕切板を設けました。

年末からの親睦例会も中止となり新会員との親睦の場がないように思われました。また例年開催していたゴルフ遠征、温泉・スキー同好会の行事も中止となりました。3月に入り、例会に出席できない会員のためにzoomを使った例会を開催しました。卓話の資料もzoomで共有して最後まで参加した会員は例会出席としました。

社会奉仕活動としては8月に万代の杜の清掃活動、11月にはロータリー財団に有る地区補助金制度を利用し「あさひ共同作業所」にキルティングマットの制作を依頼し完成品を新潟県立東新潟特別支援学校と新潟市立新潟東特別支援学校2校へ寄贈するという活動を行いました。作業所の皆さんには単に仕事をするだけでは無く、後輩への贈り物として社会の役に立つという実感を味わって頂きました。職業奉仕活動を通じて世の中の役に立ちたいという思いは、双方の生きがいにも繋がることと信じております。

COVID-19禍でもクラブとしてできる限りのことをして親睦で友情が高まれば活動がより活発になると思います。COVID-19に負けず、ロータリーの魅力を高めていき会員の退会を防ぎ新入会員を増やし活力あるクラブにしたいと思います。







## COVID-19禍に思う事

白根ロータリークラブ 会長 五十嵐 繁

私は、白根ロータリークラブに入会以来15年ぶり2度目の会長を拝命しました。まさか100年に一度ともいわれる新型コロナウイルスに遭遇するとは思いもよりませんでした。

昨年度は当たり前に開催された行事が、中止や規模を縮小しなければ開催できなかったことは残念でなりません。そして何より懸念されたことが会員の退会です。例会の中断、行事の中止等、会員間で疎遠の状態が続き昨年度末6月に残念ながら4名の会員が退会し厳しい船出となりました。これらの反省を踏まえ、7月に就任以来感染対策をしっかり行い、通常通り例会を開催し会員相互の親睦を図っています。また出張等で首都圏に行かざるを得ない会員や職業上、発熱患者と接する機会のある会員は感染防止のため自主的に例会出席を遠慮される場合もあります。

今年から出来るだけ多くの会員から例会に参加していただくためZoomで配信し常時2~3名はWEB参加です。WEB配信を始めたことで私にとってとっても嬉しい出来事がありました。姉妹クラブを締結している韓国の「明光ロータリークラブ」の20年来の友人が例会に参加してくれたことです。元気な姿を拝見し言葉には形容しがたいくらい感激しました。世界的に感染症が拡大していなければ、昨年12月上旬に姉妹クラブ締結20周年記念を韓国で盛大に祝う計画を立てていましたが、残念ながら実行に移すことはできませんでした。感染症が終息し安全に渡航できる日が必ず来ることを信じ、その日を心待ちにしています。そして減少傾向をたどっていた会員数も今年2名加入し、緩やかですが増加に転じています。増強委員長はじめ会員の努力に感謝申し上げます。

最後に、今年韓国出身の米山奨学生を受け入れることになりました。クラブメンバーー 同心待ちにしています。小さなクラブですが楽しく活動しています。



2019年11月 韓国仁川国際空港にて 明光ロータリークラブの歓迎を受け る。

2018年6月 ゴルフ来日したメンバー7人が全員で出迎えに来てくれました。





## 青少年健全育成を願い

吉田ロータリークラブ 幹事 寺澤 清仁

1988年に青少年の健全育成を願い、青少年健全育成塔を、燕市吉田総合体育館、吉田トレーニングセンター「ビジョンよしだ」などが隣接する燕市立吉田中学校通りに設置致しました。現在までに数回の修復工事を行い、その都度、吉田中学校全生徒より「標語」を募集し掲示してまいりました。

この佐藤ガバナー年度においても、青少年健全育成塔の修復工事を行い、それに併せて、 吉田中学校のご協力をえて新しく「標語」を募集しました。後日、校長先生を交え、社会 奉仕委員長、青少年奉仕委員長、会長、幹事4名で、「標語」優秀賞2点、佳作4点を選 び、入賞された生徒6名に表彰状と図書カードを贈呈致しました。

3/1、青少年健全育成塔の修復工事も終わり、優秀賞2選の新たな「標語」に書き替えられた塔の前で、優秀賞に選ばれた生徒さん2名を招き、記念撮影を行いました。当日は暖かく晴天に恵まれ、清々しい記念撮影となりました。

#### 優秀賞

「 あいさつで 笑顔のリレー 未来へつなぐ 」

「 いってきます 明るい声が 飛び交う朝 」







## 青少年健全育成を願い

三条東ロータリークラブ 会長 本多 昭一

三条東ロータリークラブ 会長 本多昭一です。三条東ロータリークラブは創立15周年を 迎えるにあたり、未来創造委員会はより良いクラブ運営を目指し発足されました。

改革・改善案を立案して理事会に提出し、未来創造委員は他の委員会と兼任することを決定しました。スタートは2019-20年度から幾度も会を開き、今の世の厳しいCOVID-19の中に活動理念が誕生したのです。もちろん、目指すのはクラブフォーラムを開き 会員ひとりひとりの意見を聞き出すことです。これで会員の一体感をつかみ出しました。20年、30年先の夢を追いかけるクラブだと決定したからです。

#### ◇三条東ロータリークラブ活動理念

- 1. 私たちは、「いのちを守る」活動をします。
- 1. 私たちは、変化に適応しクラブの明日をつくります。
- 1. 私たちは、自由闊達で和気あいあいとしたクラブをつくります。

15年をふりかえれば、数多い事業は 尊い命の大切さ・自殺防止です。

#### ◇会員増強(クラブ奉仕)活動とコミュニケーション

会員の飲食業に対して、会員の場所で食事会もしくはテイクアウトを多くしましたが、 ご自宅で新年会をしていただきたいということでオードブルと会員の方が趣味で漬けたた くあんを 休会中の方を含む、全会員に声をかけ、割烹に引取にお願いしました。皆様か ら「美味しくいただきましたよ」と意見をきかれましたので役員一同よろこんでいます。 まず会員の為、会員増強の為にもPRに使用したいと思います。接触しないで会員拡充は厳 しく、ワクチン接種後に行動を。まずは退会会員にならないように努力することです。

### ◇事業活動

令和2年

- 11月 五十嵐川クリーン作戦参加。
- 12月 社会奉仕事業としてグッディいきいきサポートセンター利用者様へのクリスマス プレゼント、今年度はCOVID-19の為に会長と社会奉仕役員だけのプレゼンターと しました。

#### 令和3年

4月 救命救急セミナー実施予定。 三条市へCOVID-19感染予防の為 アルコールハンド ディスペンサー寄付予定。





## 本年度のクラブ活動について

長岡西ロータリークラブ 会長 石黒 俊之

「長岡西RCの特長は会員親睦を重視しており雰囲気が良いところ」だと、よく言われます。1985年7月に作成された「会員募集のしおり」には、当時から平均を上回る例会出席率であった理由について、「歴代会長が会員親睦を最優先に考えてクラブ運営をおこなってきたこと」が記されています。

本年度は、COVID-19禍でも、ロータリーの基本である例会を、どのようにしたら開催できるかを考え、下半期から例会プログラムを食事の前に変更し、食事は折詰にして、事情により会食が出来ない会員がお持ち帰り(も)できるようにしました。しかしながら、他クラブとの合同例会や親睦の企画については、残念ながら中止を余儀なくされ、私にとっても心残りのある一年になります。早い終息を願うばかりです。

本年度は、クラブの社会奉仕活動として地域の課題について学び、そのまとめに、「フードバンクながおか」の立ち上げに協力すべく、地元のケーブルテレビで番組を作成し、この春(ガバナー月信4月号が発行の前後)に放送することにしました。県内民放においても他地域での「フードバンク」の取り組みについて紹介しており、「フードバンク」あるいは「フードドライブ」の認知度は向上してきていると考えますが、「地元地域のため」の活動を、地元地域の協働によって実施するということを目指しました。

小さい規模の事業ですが、ロータリー財団地区補助金を活用させていただいたことによって、世界のロータリアンの想いとつながっていると思います。その意味においても、ロータリーという組織に感謝しています。

昨今、ロータリーの「変化」を感じますが、そういった潮流のなかで、これからのロータリー活動は、"THINK LOCALLY・ACT REGIONALLY・LEVERAGE GLOBALLY (現地で考え、地域レベルで行動し、グローバルな仕組みを活用する)" がよいのではないかと、私は考えています。





## COVID-19禍に思う事

十日町ロータリークラブ 会長 吉田 之人

今年度も、昨年度に引き続き東京オリンピックをはじめ、国際ロータリー国際大会等の大規模な大会から町内会やPTA行事の多くが中止あるいは延期や縮小となりました。おかげ様でZOOMやシスコ等のソフトを活用したWeb会議が様々な場面で行われ、その利便性を実感することが出来ました。しかし、国際大会等、遠方の異国に出向き、その国の文化や習慣等に肌で触れて感じる事の有益性には到底及びません。大変残念な事と思います。

我々十日町地域は、他の地域と比べて感染された例が殆ど無い状態でしたので例会については昨年度の後半より、マスク直用、握手なし、ソーシャルディスタンス等の感染対策を行いながらも通常通り開催しております。様々な会合での懇親会につきましても、感染対策をしながら、経済活性化等の観点から行っている次第です。

RI会長ホルガー・クナーク氏の2020-21年度テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。第2560地区 佐藤真ガバナーの今年度地区運営方針は「ロータリーで良いことをしよう」です。十日町ロータリークラブでは様々な機会の扉を開き交流を深める中で、物事の本質を見る目を磨き、地域にとって「良いこと」をしていきたいと思います。



# 変化し続ける社会とロータリークラブ活動

津南ロータリークラブ 会長 桑原 健次

今、COVID-19禍は世の中を変え、現代人の人類感まで変化させています。

クラブ活動の基盤はロータリアンそれぞれの企業・事業所にあります。当地区における 感染者は一名のみで、町外施設に勤務していた方となっております。でありますが、町内 のほぼすべての行事や大きな集会が中止や書面によるものとなっております。

サービス業を中心に大きな打撃を受けています。町基盤産業である農業においても、高原野菜・ユリや特Aのコシヒカリなど今年も影響が懸念されています。これらはストレートに会員企業や事業所に幅広く、ボディブロウのように効いております。

例会は時短を心掛け感染対策をしておりますが、出席率は低下しており、退会された方 や退会希望者(私?)を、感じます。

変化する社会に対応できない組織は衰退すること必至です。SDGs・ESG・2030年ガソリン車販売禁止・カーボンニュートラル・カーボンプライス・グレタトンベリ。

そこで思うのは「寒村地域等においては、一定程度の経常利益が計上できない企業はRC の出席を免除する。入会者は休会を認める」の内規を考えてはどうだろうか。

JC時代にJC大大好き人間がいて、会社が倒産したがすぐに別会社を起業し、復帰したメンバーが居たそうな。経済状況は異なるし且つ何よりも年齢が行ってしまっている。



ある寒い日の苗場山からの眺望

米山と黒姫の間に佐渡が幽かに見える





## COVID-19禍での社会奉仕

糸魚川ロータリークラブ 会長 黒石 孝

COVID-19の感染が広がり社会生活に影響を受け始めてから1年が経った。当初の予想をはるかに超え、影響が長引く。RCの運営についても時には例会中止などの選択をしながら、密になって集合する場面を避け社会の規範たる立場を意識して、多くの事業の取り止めを決めてきた。悔しい限りである。しかし、こういう危機であるからこそ、RCは社会に奉仕して何か役に立つことをやるべきではないかという考えは常にあった。いま地域社会に必要なことは?私達がやるべきことは?との発想から独自に取組んだ2つの事業を紹介したい。

①マスクケース提供事業 マスクケース1万枚を作製し市内飲食店に寄贈した。

飲食時に外したマスクを仕舞っておくRCオリジナルの紙製抗菌ケースを作製、COVID-19禍で困窮する飲食店等に寄贈した。経済的な被害を受けている飲食店等はそこまで手が回らないし、客の感染拡大に役立つ。今しか出来ない取組である。総額予算30万円。

#### ②糸魚川サポートチケット事業への協賛

困窮している飲食業者、小売店を助けるサポートチケット事業が市内の若者達中心に計画された。これは代金を前払いして食事や買物に使える30%プレミアム付の商品券の販売事業である。事業者には代金が先払いされる分だけ援助になり、購入者は3割の特典を受けられるという、COVID-19対策の典型的な三方良しの事業である。ただ違うのはこの事業を行政と民間が連携して実施する点。市民が市民を助け合うという趣旨からRCを含めた民間企業、団体がプレミアム分全体の30%の内10%を負担する。民間からの事業立ち上げにRCも関わり、助け合いの精神で社会貢献を行った。糸魚川・糸魚川中央の両RCの共同事業である。







# 地区主要行事予定4月-5月

2021年4月1日現在

	年	月 E	3	行 事	会 場				
	4月			母子の健康月間	母子の健康月間				
		3	(土)	米山カウンセラー研修会	ANAクラウンプラザホテル				
		10	(土)	ローターアクト 第51回地区大会	ANAクラウンプラザホテル				
		<del>10</del>	<del>(±)</del>	ロータリー財団地区奨学生選考試験 →中止	万代シルバーホテル				
		11	<del>(日)</del>	<del>頸北RC40周年記念</del> → <b>中止</b>	ホテルセンチュリーイカヤ				
		11	(日)	第7分区IM (倉茂G補佐・頸北) ※ <b>縮小開催</b>	ホテルセンチュリーイカヤ				
		17	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル				
	7/3	<del>17</del>	<del>(±)</del>	<del>第13回DL研修会</del> → <b>延期</b>	オンライン会議				
		18	(日)	佐藤年度 地区大会	新発田市市民文化会館				
2021年		24	(土)	長岡RC創立70周年記念式典	長岡グランドホテル				
(R3)		<del>24</del>	<del>(±)</del>	<del>第3回派遣学生オリエンテーション</del> → <b>中止</b>	クロスパル新潟				
佐藤年度		<del>24</del>	<del>(±)</del>	<del>三条ローターアクトクラブ50周年記念式典</del> → <b>延期</b>					
<b>佐藤平</b>		<del>24</del>	<del>(±)</del>	<del>第14回DL研修会</del> → <b>延期</b>	オンライン会議				
		<del>25</del>	<del>(日)</del>	<del>第1回RLIパート 1</del> → <b>中止</b>					
	5月			青少年奉仕月間					
		8	(土)	加茂RC創立60周年記念式典	清雲亭山重				
		8	<del>(±)</del>	<del>第15回DL研修会</del> → <b>延期</b>	オンライン会議				
		<del>15~16</del>	<del>(土~日)</del>	RI日本青少年交換研修会 → <b>中止</b>	ホテルオークラ新潟				
		<del>15</del>	<del>(±)</del>	<del>財団奨学生オリエンテーション</del> → <b>中止</b>	ホテルオークラ新潟				
		18	(火)	新潟RC創立80周年記念式典	ホテルイタリア軒				
		22	(土)	高尾年度 地区研修・協議会	ANAクラウンプラザホテル				
		25	(火)	日本のロータリー100周年を祝う会	ザ・プリンス パークタワー東京				

# 新入会員紹介(敬称略)

RC	C 氏名 入会日		会社名	役職	職業分類
白根	和田 進	2021.2.25	有限会社 和田建材	取締役会長	建設業
高田	大嶋 賢一	2021.2.26	有限会社 大嶋眞泉堂	代表取締役社長	絵画・画材販売

# 訃報 (敬称略)

	RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
							2018-19年度
							ガバナー補佐
5	冰	久住 勲夫	2021.3.22	あさひパートナーズ税理士法人	代表社員	税理士	2020-21年度
							青少年奉仕委員会
L							ライラ委員会 委員長





### 第2560地区 2020-21年度2月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

	例	My Rotary	, 会員数			
R C	会数	アカウント 登録率	2020年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		-	387	389	38	2
新発田	0	27.8%	95	97	0	2
村上	3	16.7%	40	42	10	2
水原	4	21.9%	30	32	1	2
中条	2	90.5%	43	42	3	-1
新発田城南	3	16.7%	44	42	4	-2
豊栄	2	13.0%	23	23	4	0
新発田中央	3	4.3%	45	46	4	1
中条胎内	3	56.8%	36	35	6	-1
村上岩船	4	23.3%	31	30	6	-1
第2分区(9クラブ)		I	433	450	25	17
新潟	3	20.0%	88	90	2	2
新潟東	4	14.1%	63	64	8	1
新潟南	4	32.4%	96	108	3	12
佐渡	2	100.0%	6	6	0	0
新潟西	3	52.6%	38	38	2	0
佐渡南	2	12.8%	40	39	4	-1
新潟北	2	30.0%	39	40	0	1
新潟中央	2	39.1%	20	23	0	3
新潟万代	4	51.2%	43	42	6	-1
第3分区(6クラブ)		_	102	99	4	-3
新津	4	11.8%	16	16	0	0
村松	3	66.7%	12	12	0	0
五泉	3	0.0%	12	12	1	0
白根	3	30.0%	30	30	1	0
新津中央	3	39.1%	26	23	2	-3
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分区(11クラブ)		-	369	374	27	5
三条	3	10.0%	57	60	0	3
燕	3	5.6%	36	36	3	0
加茂	3	9.1%	30	33	5	3
三条南	1	13.6%	45	44	2	-1
分水	3	80.0%	30	30	4	0
見附	0	9.1%	22	22	1	0
吉田	2	6.7%	26	30	4	4
三条北	0	0.0%	60	56	2	-4
巻	3	0.0%	23	24	2	1
田上あじさい	3	14.3%	7	7	1	0
三条東	0	6.3%	33	32	3	-1

	例	My Rotary		会 員	数	
R C	会数	My Rotary アカウント 登録率	2020年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		_	306	305	27	-1
長岡	3	89.6%	49	48	4	-1
柏崎	4	2.4%	42	42	0	0
長岡東	3	25.9%	57	58	3	1
柏崎東	2	18.2%	46	44	3	-2
栃尾	3	12.0%	24	25	0	1
長岡西	2	20.0%	52	50	5	-2
柏崎中央	3	23.1%	36	38	12	2
第6分区(6クラブ)		_	130	135	11	5
十日町	3	28.1%	29	32	3	3
小千谷	3	10.0%	27	30	3	3
雪国魚沼	4	16.7%	24	24	3	0
十日町北	3	0.0%	21	20	1	-1
津南	4	17.4%	23	23	1	0
越後魚沼	3	16.7%	6	6	0	0
第7分区(8クラブ)		_	337	337	24	0
高田	3	31.2%	76	78	5	2
直江津	3	36.6%	71	71	6	0
新井妙高	2	12.1%	32	33	1	1
糸魚川	2	83.3%	41	42	3	1
高田東	4	69.4%	36	36	2	0
糸魚川中央	3	51.7%	33	29	0	-4
頸北	2	18.2%	10	11	1	1
越後春日山	2	100.0%	38	37	6	-1

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,064	人
2月末 会員数	2,089	人
女性会員数	156	入
純増減会員数	25	人
My Rotaryアカウント登録率	29.1	%

※ 7月1日会員数は、

2020/7/1 00:00時点のRI数字を表しています。





# NEWS

ディネーター 2021年4月号 No.1

発行: Region 1 & 2 & 3 ロータリーコーディネーター ロータリー公共イメージコーディネーター

新型コロナウイルス感染症が確認されてからすでに1年が経ち、皆様のお仕事に、そしてロータリー活動にも大きく影響が有るかと推察いたします。そして例会が今までとは違う方法での運営がされてるとお聞きしています。

この状況が早く落ち着きもっともっと活発な活動が出来る事を期待いたします。

コロナ禍に於いて、退会する会員が増える事を懸念いたしております。

各クラブとも会員増強があまり達成できていないクラブが多いと感じております。

私は女性会員として少しお話させて頂きます。

日本の女性会員の比率はまだ7%程度で推移しています。

何故? 何が入会のハードルになっている?

2830地区で女性会員の集いを開催した時に意見を聞きました。

「やっぱり!」 と思う事ばかりでした。男性の意識が変わらないと入会しにくいのです。

男性優位の感覚が無意識の中にあるのです。ロータリー会員は世界を視野に活動しています。男女平等、会員皆平等のロータリー精神で女性会員を受け入れて頂きたいと思います。

そして入会後には活動の場を与えて頂きたい。これは女性会員の心からの希望です。

現在 まだ女性会員の入会を認めないクラブもありますが、女性会員がいる事で活動に広がりが出てくる事は確実だと思います。先ずは全てのクラブに女性会員がいる事を目指して入会を勧めましょう。初めての女性のRI会長が決定され益々女性活躍の時が来たのではないかと感じます。女性の潜在能力を引き出してくださるのが男性ロータリアンの力です。よい事をしたい女性はたくさんいます。ロータリアンになる資格を持った女性は貴方のお近くに必ずいるはずです。 是非是非 お誘いください。

そしてクラブに会員増強と活性化の起爆剤になる事を期待いたします。

日本の女性ロータリアン10%を目指しましょう。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 佐々木 千佳子(十和田RC)





# ディネーター 2021年4月号 No.2

発行: Region 1 & 2 & 3 ロータリーコーディネーター ロータリー公共イメージコーディネーター

#### 世界ポリオデーでロータリーのポリオ根絶活動をアピールしてください

第1地域の公共イメージコーディネーターに昨年7月に就任しました。コロナ禍の最中なので、担当地域の地区 大会や公共イメージの研修会にお声が掛かることも無いまま10カ月近く過ごしておりますので、これまでの活動 を紹介させて頂きます。

RPICは日本の3地域に1人ずつおりますので、年度が始まる前からZoomの会議を頻繁に行い、日本全地区の公共 イメージ委員長にアンケートを出して地区の実情を把握させて頂きました。その後、8月29日に全地区の公共イ メージ委員長の研修会を開催しました。

開催4日前の8月25日にWHOがアフリカ大陸でポリオが根絶されたことを発表し、日本の新聞では27日の朝刊に 掲載されました。朝日新聞朝刊の記事をみて驚きました。「ワクチン接種が予防に有効なため、ワクチンが行き 届いていなかった国へ、国連児童基金(ユニセフ)や日本の国際協力機構(JICA)、ビル&メリンダ・ゲイツ財 団などが、子どもへの接種を支援してきた。」と記述されていて、ロータリーという名前を見出せませんでした。 他の新聞でも同様でした。ロータリーの名前が日本の報道に現れなかった事が公共イメージ委員長研修会のQ&A セッションで話題になりました。辰野理事がRIにアフリカ地域ポリオフリーに関するメディア報道についての見 解を求めて下さり、また、辰野理事、原ARPIC(2600地区 長野)がNHKに働きかけて下さって、世界ポリオデー に2750地区(東京・グアム・ミクロネシア・北マリアナ諸島・パラオ)が開催するZoomでのバーチャル・チャリ ティコンサートが、10月23日のNHK TVニュースで紹介されました。

コロナ禍ということも有って、20-21年度の日本のロータリークラブの世界ポリオデーの活動は活発とは言えま せんでした。その中でも前述の2750地区のバーチャル・チャリティコンサート、2640地区(和歌山・大阪南部) の高野山金剛峰寺でのポリオ根絶と新型コロナ収東祈願法会、2770地区(埼玉南東)の京浜東北線川口駅前での 大型ビジョンを使ってロータリーのコロナ根絶活動の紹介など、話題になる活動を実施して下さいました。 https://rotaryblogja.org/category/%e3%83%9d%e3%83%aa%e3%82%aa/に2020年10月24日に日本で行われたイベントの紹 介が有ります。

日本のマスコミにロータリーがポリオ根絶活動をしていることを理解し報道して貰うためには、一般の多くの 人々にロータリーが1985年にポリオ根絶の活動を世界で最初に提唱した組織であり、それ以来、組織を上げてポ リオ根絶活動を継続していることを認知して貰う事が重要であると思います。そのためにはRIが推奨している10 月24日の世界ポリオデーに日本の各ロータリークラブが行動を起こし一般の人々に伝えることです。

現在RPICとしては、公共イメージ向上と今年の世界ポリオデーの取組の重要性を次年度のガバナーと地区公共 イメージ委員長にご理解頂くためのアンケート活動、研修会などを企画しております。ご理解とご協力を宜しく お願い申し上げます。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實(さいたま新都心RC)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



# ノハイライトよねやま

Vol. **252** 2021年3月12日 発行

# 1. 2021 学年度の選考を全地区で実施

2021年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が2月中旬までに、全国34地区の各選考委員会によって行われました。

学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金、クラブ支援奨学金の申込者1,434人のうち、638人が合格内定者として選出されました(今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによる人数変動あり)。このほか、渡日前採用型の海外応募者対象奨学金に12人(12地区)が合格内定者として選出されました。

これらの内定者は2月15日の選考・学務委

員会での協議を経て、今後の常務理事会、理事会(書面協議)を行い、合格者として承認されました。合格通知は大学宛てに発送済みです。2021 学年度の奨学生数は、この新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた912人(3月11日現在)となります。なお、台湾および韓国の米山学友会が候補者(博士号を持つ上級研究員)を推薦する海外学友会推薦奨学金は、1月末の推薦期限を設けていましたが、新型コロナウイルスの影響により期限を3月末まで延長しています。

## 2. コロナ禍での終了式 - 各地区の事例 -

奨学生を送り出す終了式の季節です。コロナ 禍も2年目に入り、地区では頭を悩ませ、さま ざまな工夫をしながら奨学生を送り出していま す。各地区の米山委員長に話を伺いました。

第 2530 地区【福島県】 昨年 の終了式は中止にしましたが、今年は Zoom で開催しました。挨拶や一言をそれぞれ発表するだけでなく、米山委



員有志による甚句、踊り、合唱等を織り交ぜ、 思い出に残る企画としました。

第2760 地区【愛知県】 時間を短縮してクッキーとお茶を出す予定です。当地区は奨学生数が全国でも最多レベルなので二部制も検討しましたが、Zoomも併用しながら全員揃っての記念写真を撮ってあげたい。今年度は奨学生との距離が少し広がってしまった印象があります。

#### 第 2620 地区【静岡県・山梨県】

二県にまたがるため全体での終了式は行わず、 奨学生の各世話クラブの例会で、ガバナーから のメッセージを読み上げ、委員会が用意した花 束と記念品を贈呈するセレモニーの時間を設け ていただくこととしました。

#### 第 2700 地区【福岡県・長崎県・佐賀県】

奨学生・カウンセラー・指導教官の3人を10分間隔で会場へお呼びし、終了証を授与しました。



# 3. 寄付金速報 - 依然として厳しい状況 -

2月までの寄付金は、前年同期と比べて 2.0% 減(普通寄付金:1.8%減、特別寄付金:2.1%減) 約2,200万円の減少となりました。

新型コロナウイルスの国内感染者が出始め、 日常生活に影響を及ぼすようになってからちょ うど一年。昨年2月時点の前年同期比は約3,400 万円減でしたが、今年はそこからさらに 2,200 万円の減少となり、厳しい状況が続いています。 ご寄付は1円単位でお受けすることができます。 少額でも構いませんので、お気持ちを形にして いただければ幸いです。何卒ご支援賜りますよ うよろしくお願い申し上げます。

# 4. 茨城ロータリーEクラブのご紹介



米山学友などロータリーファミリーが中心となって 2019 年 5 月に設立された茨城ロータリーEクラブ。現在の会員 15 人のうち米山学友は6 人で、創立当時から今年度まで会長を務めているのは徐 佳鋭さん (2013-14/水海道RC)です。

創立ガバナーの高橋賢吾氏から、「ロータリー クラブはいつでも作れるものではなく機という ものがある。地区の理解、スポンサークラブの理解、条件を満たす会員数、すべての条件が揃う時はまさにチャンス」と熱心に口説かれ、入会を決意した徐会長。

Eクラブの通常例会は、ホームページ に掲載された動画や資料を各自が 1 週間 のうちに閲覧し、意見を書き込む形式が 主流ですが、同クラブでは会員が参加す る LINE グループを作って、普段の連絡は もちろんのこと、資料配布や月に 2 回開

催する例会も、LINEの画面越しに顔を合わせて行われます。「ロータリーはやはり、顔を合わせないと例会じゃない気がして……」と、徐会長は言います。

2019 年秋には、台風で大きな被害を受けた水戸市へ軍手と土嚢袋を寄付、昨年 5 月には地元の保育園へ消毒液を、茨城県へマスクを寄贈するなど、着実に活動を重ねています。

## *5.* 未来に羽ばたけ!カウンセラーのメッセージ

ベトナム出身の奨学生、チャン ティ トゥ クックさんのカウンセラーを務めた高松RCの水重克文氏からのメッセージを紹介します

奨学生のクックさんが自転車で通<mark>学時、</mark>交通事故に遭った。コロナ禍で例会が制限され、会う時間も充分に取れていなかった。そうしたストレスが、クックさんの明るさに影を落としているように感じた。既に決まっていた大学院への進学を諦め、社会人として自立する道を選んだと聞かされた。母国の両親とも電話で相談したようで、まずは日本で就職し、将来的には母国への帰国を望むとのことだった。

そんな時、高松に本社を置く四電工が、ベトナムで関連事業を行う会社を設立することを知った。個人的な知り合いがいたこともあり、クックさんのことを相談することにした。もちろん入社の依頼などではなく、正規の手順を経る

ことを前提に、選考の中に彼女を入れてもらえないかという相談だ。クックさんは入社試験や面接のトレーニングと同時に、TOIFL へのチャレンジや、会社で使用する CAD の勉強も同時に開始したのには驚かされた。真面目で努力を惜しまない性格を、是非とも我が国の若者にも学んで欲しいものだとさえ思った。

クックさんの努力が実り、無事入社が決まって新生活への準備が始まった。例によって私は大したことはできなかったが、壊れた洗濯機の代替機の調達や転居先など、クラブの面々が私の不十分さを100%、いや200%くらいカバーしてくれた。ロータリアンの"気は優しくて力持ち"にも感服した次第だ。

さあ、もうすぐ新しい生活が始まる。我が国とベトナムの新しい架け橋のタマゴが、いま芽を出そうとしている。そんな空気を醸し出す、そんな女の子がクックさんでした。ありがとう。

マレーシア米山学友会 Zoom 総会のご案内(日本語で開催)

日時: **2021 年 3 月 20 日** (土) 日本時間 16:00~18:00 ※マレーシア時間では 15:00~17:00 登録期限: 2021 年 3 月 17 日 登録用 URL→ https://bit.ly/3cnIWQH ※事前登録制

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当:野津(のづ)・峯(みね)